

津波襲来 ②



15:51

◀▼ LNG 船受け入れバス方向から構内に勢いよく侵入する津波を事務所・コントロールセンターより確認。ほぼ同時刻、南側に隣接する全農エネルギー株式会社仙台石油基地方向からも侵入。初めて目の当たりにする津波の恐怖が避難している職員たちを襲った。



15:52

◀▼ 瞬間に勢いを増す津波。荒々しい白波が不気味な轟音を上げながら事務所・コントロールセンターに迫る。想像を絶するスピードと威力。迫り来る津波の脅威の前に、職員たちの間に緊張が走った。



15:52



15:52



15:52



15:52

◀▼ 駐車中の自動車が玩具のようにもあそばされ、流れの中のみ込まれてゆく。事務所・コントロールセンターの1階部分も完全に水没。



16:05



15:53

◀▼ 15時55分頃に最大水位を記録した津波は次第に引き始め、16時を過ぎてからは徐々に被害の状況が確認できるようになる。生命の危機と向き合った十数分間。鯨のようにジグザグに折れ曲げられた配管が津波の恐るべき威力を物語る。だが、新潟からのパイプラインの被害が少なかったことが早期の供給再開をもたらした。